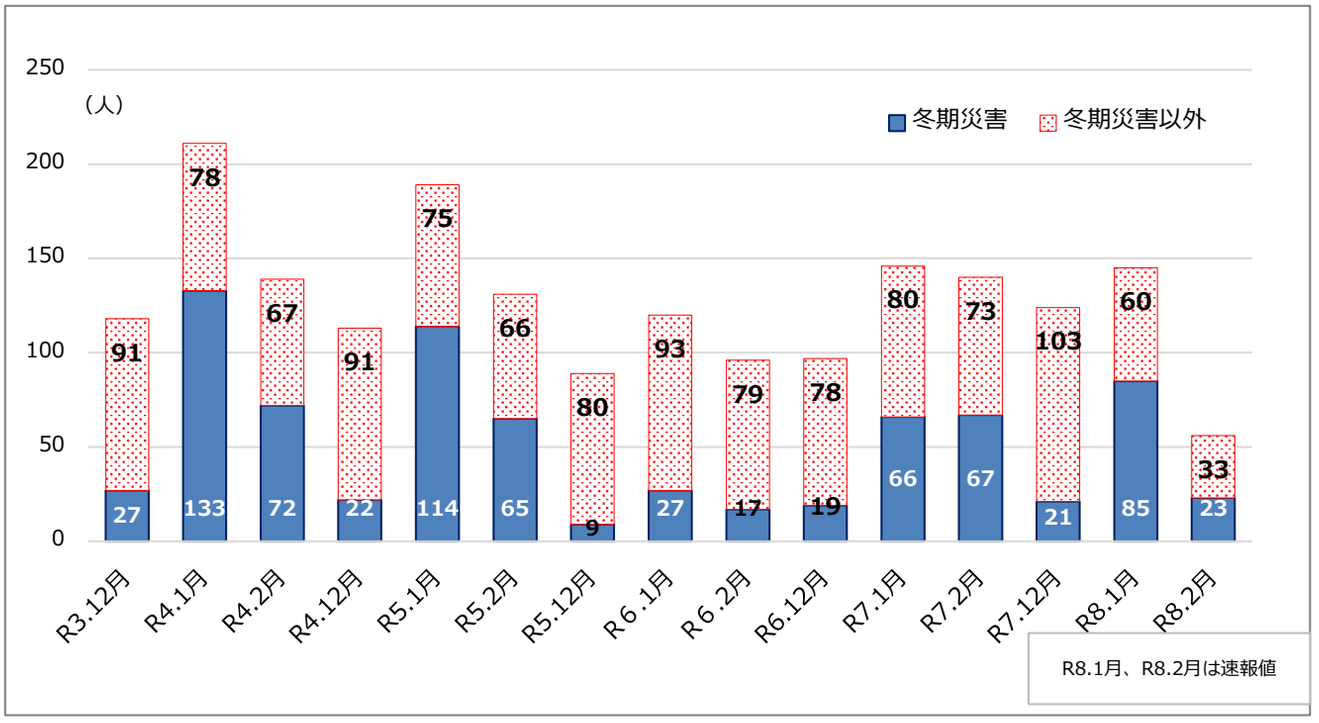
資料２

山形県内における冬期型災害発生状況

令和3年12月から令和8年２月のうち毎年12月から2月まで（以下「冬期シーズン」という。）の、凍結や積雪による転倒災害、墜落・転落災害、交通事故など冬期特有の労働災害（以下「冬期型災害」という。）のうち休業4日以上の災害発生状況は以下のとおりです。（新型コロナ関連を除く。）

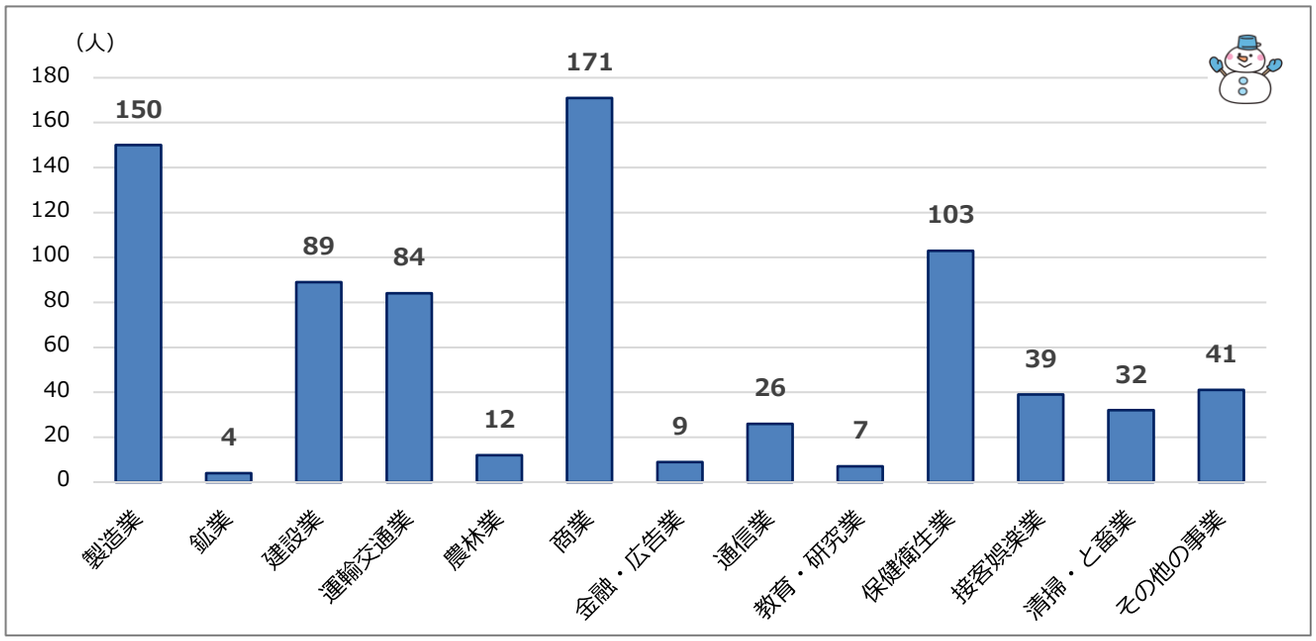
１．月別労働災害発生状況

例年１月と２月に発生が多い。冬期型災害が占める割合（以下「冬期型割合」という。）は、過去5年をみると40.1%（767/1914人）であるが、令和8年1月における冬期型割合は58.6%（85/145人）、同年２月における冬期型割合は41.1%（23/56人）と高くなっている。



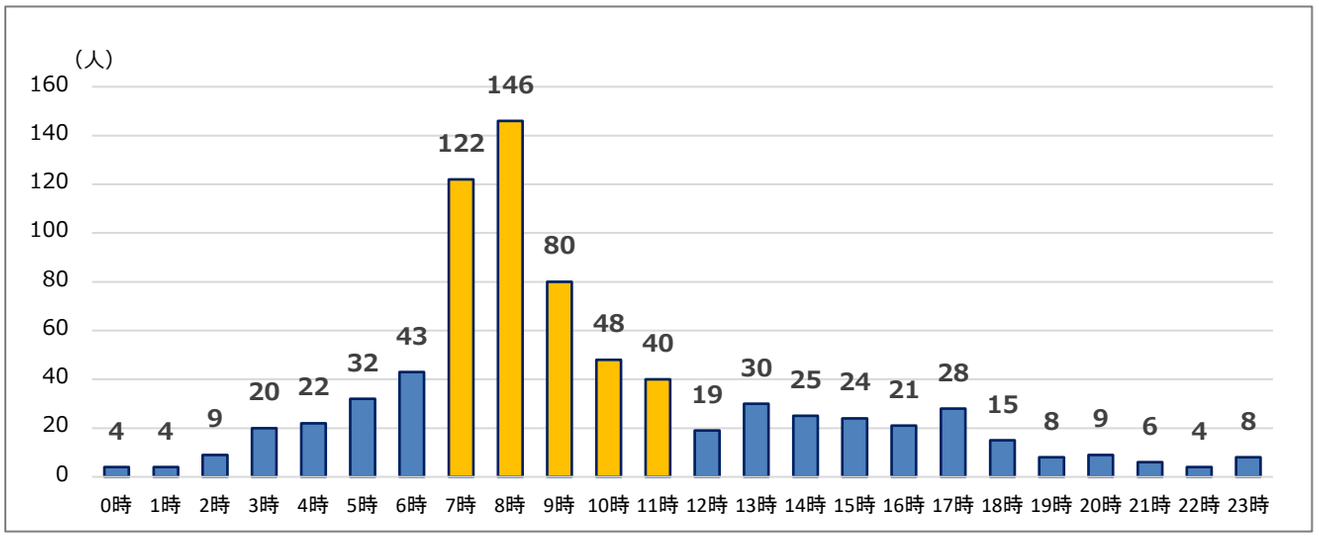
２．業種別冬期型災害発生状況（過去５年間）

冬期型災害は「商業」が最も多く、次いで「製造業」、「保健衛生業」の順となっている。



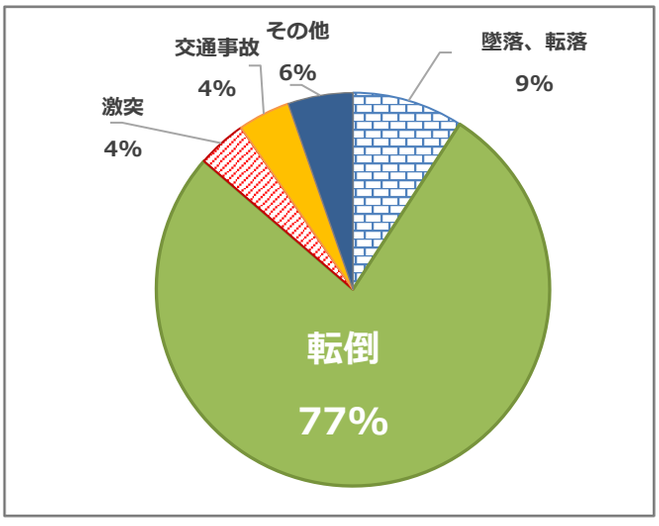
3．時間帯別冬期災害発生状況（過去５年間）

冬期型災害は、７時台（全体の約15.9%）から８時台（同19%）、９時台（同10.4%）にかけて多く発生し、７時から11時までに発生した冬期型災害は全体の56.8%を占める。



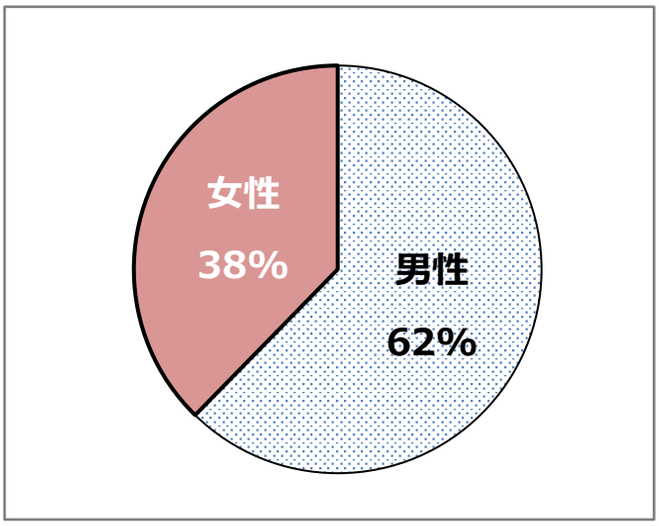
4．事故の型別冬期型災害発生状況（過去５年間）

冬期型災害では、「転倒災害」が592人と全体の約８割を占めている。



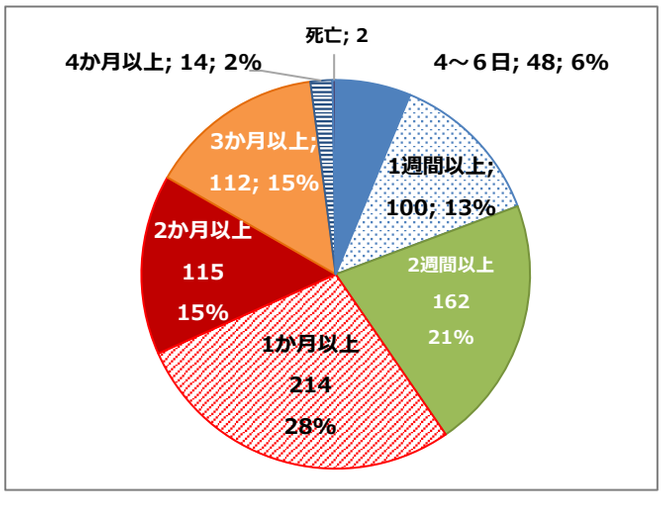
5．男女型別冬期型災害発生状況（過去５年間）

男女別に分類すると、男性478人、女性289人が冬期型災害に被災している。



6．休業日数別冬期型災害発生状況（過去５年間）

冬期型災害に被災した労働者の約６割が、1か月以上の休業見込となっている。



7．年代別冬期型災害発生状況（過去５年間）

年代別にみると、50歳代と60歳代で全体の6割（３割＋3割）であり、60歳代以上の被災者は全体の４割超である。

